

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和5年11月9日(木)
第23号

◆「産業現場等における実習」の面接 協力ありがとうございました◆

本校では、「産業現場等における実習」を教育活動の一環として位置付けており、実習先の作業職種を9つに分けています。生徒自身が卒業後どんな職種の仕事がしたいのかということをおこの実習で体験し、卒業後の進路先を決める上で、「自己選択・自己決定」ができる資料となりますので、「産業現場等における実習」は、とても大切な意味を持っています。

「産業現場等における実習」を行う生徒は、実習先との面接で、実習の目標、通勤方法、作業内容など多くのことを実習先の方々を確認しました。緊張気味の生徒もいましたが、自己紹介ができた、実習先の職員の話真剣に聞くことができていました。「産業現場等における実習」に参加する生徒の保護者の皆様には、ご多用中にもかかわらず、面接に参加し、ご協力いただきありがとうございました。

◆「実習ノート」への記入のお願い◆



「実習ノート」には、実習中の目標や作業内容、実習期間中の一日の成果や課題実習報告会へ向けて資料となるものなど、この実習で学ぶ大切なことがたくさん詰まっています。また、「実習ノート」には、『保護者より』の欄もあり、「家庭と学校」「家庭と実習先」を繋げる連絡帳の役割もあります。実習中に、ご家庭でお子様と話した内容や健康状態など、どんなことでもいいですので、一言書き添えいただけますよう、お願いいたします。

「実習先との信頼を得る」という意味でも、とても大切なものとなっています。

◆1. 2年生の実習報告会のお知らせ◆

1, 2年生の実習報告会を12月4日(月)12:40~13:40で実施する予定です。実習報告会では、実習の目標に対しての成果と課題を生徒一人一人が発表します。この報告会は、生徒の発表だけでなく、今後の実習や卒業後のことを考え、どんな企業、どんな仕事内容があるのかが、詳しくわかると思います。今後の進路決定する上で、参考になります。是非ご参加下さい。

◆共育(共に育てる)◆

『産業現場等における実習』を受け入れて下さった実習先の方と実習依頼に行ったときにお話したことです。「コロナやインフルエンザが流行っている中、大変な時期に『産業現場等における実習』を引き受けて下さり、ありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝えたところ、実習先の方から、「大変な時期だからこそ、学校と一緒に生徒を育てていきたいです。」という声がかえって来ました。生徒自身の気持ちを大切にしながら、学校と家庭だけではなく、実習先とも一緒になって、生徒たちが大人になって、社会に出るために、「生きていくためにはどんな力が必要なのか」「将来どんな生き方をして欲しいのか」など、卒業後の将来像について、実習を通して、共通理解を図り、一緒に生徒たちを育てていけるといいなと思っています。

